

三つの英文読解問題と英語での表現力を問う自由英作文の問題から構成されている。読解問題は、ニュース、短篇小説、エッセイなど多様なジャンルの英文を限られた時間内に的確に読み解く能力を、英作文の問題では、発想力と同時に自分の伝えたい内容を適切な英語で表現することができるかどうかを見た。

I

【出題意図】 2024年5月15日の *The Japan News* に掲載された “Scientists learn basic building blocks of sperm whale language” と題するマッコウクジラの言語に関する記事である。マッコウクジラがクリック音でお互いコミュニケーションをとっていることがわかり始めており、今回科学者がその言語のうちの基本となるアルファベットのようなのがわかったという内容である。まだ基本がわかり始めたばかりなので、この研究がマッコウクジラの保護に役立つかもしれないとか、何が研究を進めるのに役立つかもしれないといった内容は仮定の話であることを理解することが求められる。

【評価のポイント】

- 問1 本文の各パラグラフの内容に当てはまる意味の文を選ぶことがポイントである。主語が空所の前後の文の名詞と合っているかを考えることがヒントになる。
- 問2 (1)は「レコーディングスタジオ」と「タグ」、(2)は「船がぶつかる危険を減らすこと」と「海のノイズを減らすこと」と2点を答える。(3)は「AI」だけ答えることをポイントとした。
- 問3 マッコウクジラが使える “phonetic alphabet” を形作るクリック音なるものを科学者たちは研究しているということが理解できているかがポイントである。
- 問4 What has interested you? という質問なので、The fact that ～ (本文の内容) has. という構造で答えられているかを評価のポイントとした。

【答案の傾向】

- 問1 おおむね出来ていた。特にマッコウクジラの特徴に関する箇所は大変よく理解できていた。
- 問2 本文の内容を完全に理解していると思われる答案から、基本的な把握ができていないと思われる答案まで見られた。英問に対して本文を引用すればよいところを、自分の言葉で答えていて、英文をまちがえる場合もあった。(1)は「レコーディングスタジオ」と「タグ」、(2)は「船がぶつかる危険を減らすこと」と「海のノイズを減らすこと」と2点を答えるべきところ、どちらか一方しか答えられない答案が少なからずみられた。(3)は

「AI」だけ答えれば良いところ、余計な情報をかいて減点の対象となってしまった惜しい解答が散見された。

問3 この文章がマッコウクジラのコミュニケーションについて書かれたものだという理解では、本問を解答するには不十分だろう。単語や句におおよそ相当するものを構築するために、マッコウクジラが使える“phonetic alphabet”を形作るクリック（音）なるものを科学者たちは研究しているというのがこの文章の主要テーマであると理解すれば、下線部の指示内容が見えてくるはずだ。

正答率は芳しいとは言えなかった。その理由は、先述した不十分な理解に留まっていたということと、下線部の前後のみを訳すなり説明するなりしていることにある。下線部から遠く離れた箇所解答のヒントとなる部分があるため、難度は高かったかもしれない。この種の問題にも対応できるよう、文章の主題を捉える練習と精度の高い読み方の鍛錬が必要だろう。

問4 本文の中で興味を抱いた箇所については解答者それぞれであるとはいえ、“I interested in . . .”, “I have (has) interested in . . .”といった基礎力不足の作文が非常に目立った。文構造や文法さえしっかり踏まえてある作文であれば解答として十分である。いわゆる三人称単数現在の“s/es”や名詞の単数形／複数形にも注意されたい。

II

【出題意図】 中国系アメリカ人作家 Ken Liu のファンタジー小説の一部である。作品は、アジア文化とアメリカ文化の両方を引き継いだ中国系アメリカ人の子供を主人公とする。中国出身の母が作ってくれた折り紙の動物は、「わたし」のアジア文化的分身であり、一方、マークのスターウォーズのおもちゃは、アメリカ資本主義社会と白人至上主義的帝国主義の象徴ともいえる。小説は、子供視点の簡単な英語で書かれているので決して難解ではない。一つ一つの単語に注意を払いながら、子供の心の動きを追い、物語の流れを理解する英語力があるかどうか問われる問題となっている。

【評価のポイント】 問1は、人物の行動の理由を読み取ることを求めるもので、文脈を正しく理解できているかどうか問われている。問2は適切な単語を入れることができるかどうかで、物語の流れを把握ができているかを見るものである。問3は「わたし」の台詞がどのような理由から発言されたのかを読み解く問題で、he が通例の人間ではなく、ここでは玩具のことを指しているの理解できているかどうか重要なポイントとなる。問4は、「わたし」とマークの対立の発展を正しく論理的にたどることができているか、文章にちりばめられた単語をキーワードとして長文読解の理解につなげていくことができるかどうかを見ている。

【答案の傾向】

- 問1 折り紙で虎を作って「わたし」に見せるといふ点についてはおおむねよく書けていた。しかし、回答の中心となるべき点、すなわち「わたし」を慰めるためという理由が示せていない答案が少なからずあった。直前の段落の“sobbing”や“soothed”という語の意味が取れば理想的だが、そうでなくとも第4段落2文の“I stopped crying and watching, curious”という箇所からの推測も可能である。
- 問2 おおむねよくできていた。bとcとが逆になっている答案が散見された。動作を表す語彙も増やすとよいだろう。
- 問3 できている人とできていない人が分かれた。下線部の中のheはおもちゃのスターウォーズ・フィギュアを指しているが、この点を理解できているかどうか、得点の分岐点となった。マーク自身が動作や演技をしていると読み違える答案がいくつかあった。
- 問4 後半の“This was very expensive!”という言葉を読んで、マークが叫んだと早合点したと思われる答案が複数見られた。さらに注意深く先を読めば、そのセリフの後で「わたし」が倒れる描写があるので、マークが「わたし」を殴り、その後、折り紙の虎がマークに反撃して、マークが叫ぶのは一番最後に来るといふ物語の流れを理解できるはずである。

III

【出題意図】世界的にCO₂排出が問題となっている今、簡易に用意できる、自然光をエネルギー源とするパネル（簡易）を利用することについて書かれた文章であり、それについての筆者の意見を汲み取り、なおかつ、まとめることができる能力があるかどうかを見た。

【評価のポイント】

- 問1 アルミホイルで包まれたパネルが太陽光を有効に使用している状態が理解できているかどうか。
- 問2 天然の木材をいまだに伐採して火力エネルギーを得ている場所や、土壌（土）の浸食が進んでいる場所でこそ、このタイプの太陽光パネルが有効であるという点を読み取れているかどうか。
- 問3（化石）燃料がほぼ枯渇している地帯であること、丘陵は木々がほぼはぎ取られている状態であること、そしてその地帯には太陽光がふんだんにあるということが読み取れているかどうか。
- 問4 このレベルにふさわしい語彙力を持っているかどうか。

【答案の傾向】

- 問1 下線部を日本語に訳すか、その内容を説明するかが問われている問題なので、おおむね

できていた。cardboard は「厚紙」か「板紙」か「ボール紙」か「段ボール」のように訳してほしいが、なかには「カードボード」と書いている答案が散見された。その場合は減点にした。

問2 「よくできている」「部分的にできている」「不十分である」というように答案の傾向には幅があった。なかには、森林伐採や土壌の浸食が進んでいて電力が不足していることは書かずに、陽が照らない北ロシアやシアトル、逆に太陽が強く照りつける（日差しが強い）アフリカの砂漠地方やインドのような地域とだけ書いている答案もあった。

問3（化石）燃料がほぼ枯渇している状況については、良く書けていた。また、丘陵に燃料にするための木々が無くなっていることについては、いくつかの答案で、逆に、木々は大量に存在すると誤読しているものがあった。その地域には大量の太陽光があるということについては、良く読み込めていた。

問4 おおむね良くできていた。

IV

【出題意図】一週間の日本への旅を今年8月に計画しているというカナダの友人ニコルに、旅のアドバイスをするという自由英作文の問題。正確な英語でわかりやすく表現できるだけでなく、相手の興味を惹くような提案が具体的にできる発想力、着眼点の面白さもアピールしてほしい。

【評価のポイント】この設問では、①内容（発想力）②形式（文章構成・文法）③形式（100語程度の英語で書かれているか）の3点を評価の対象としたが、より具体的には以下の4点の内容が適切な英語で書かれているかを問うた。

- (1) 一週間の日本の旅でニコルに訪れるようすすめたい場所、その地名
- (2) そこでニコルがどんな経験をしたら楽しめるか、具体的な提案
- (3) その場所でその経験をして欲しいと考えたおすすめの理由（一つ以上）
- (4) 8月の日本の暑さ対策の具体的な提案（一つ以上）

【答案の傾向】ほとんどの答案が、出題の意図を理解し、的確な内容と形式で解答していたため、この設問については全体的にとっても評点が高かった。しかし100字前後という字数の条件を満たしていないもの、「ニコルに旅のアドバイスをしてください」との設問で、ニコルに対して「二人称“you”」を使ってアドバイスをすべきところ、「三人称“she”」で書かれた答案も散見された。スペルミス、名詞の単複などの基本的な文法の誤り、さらに“Japan”、“Japanese”、“Kyoto”といった固有名詞は必ず大文字ではじめる点などには日頃から注意してほしい。また正式な英作文では、文の冒頭は“especially”でなく、“In particular,…”を使うこと。“because”ではじまる従属節は、文のはじまりは避け、後半におくのが基本ルールであることも押さえてしておいて欲しい。